

令和3(2021)年度新たな始まり

4月8日、着任式・始業式がリモートで行われました。新着任された田中良季校長先生の式辞では、新型コロナウイルス感染症について2つの呼びかけがありました。1つは「自分が感染しないように努力すること」、もう1つは「自分がもしも感染していたらという危機感を持つこと」でした。皆さんの学校生活(学習・学校行事・部活動など)を止めないためにも常に心がけてください。よろしくお願いします。



2021.4.8 第39回入学式

第39回生106名が入学しました。自ら積極的に行動し、充実した楽しい高校生活にしてください。

「躍」

2021年度第39回青志祭のテーマが決定しました。
躍動の「躍」です。

私たちはこの漢字一文字に、

- ・心明るく躍らせて思いっきり、笑顔で楽しんでほしい！
 - ・世の中暗いニュースが多いけど、みんなの心が少しでも明るくなって、一緒に楽しい事を作り、楽しく過ごしたい！
 - ・普段、我慢していることを少しでも発散してほしい！
- という思いを込めて選びました。

1年生 クラス屋外展示

2年生 創作動画

3年生 学年共同制作展示

各クラス・学年の力作を期待しています！

また、青志祭は文化部の活動の発表場でもあります。

吹奏楽部・音楽部のステージ発表や華道部・書道部・総合科学部・パソコン研究部の展示、茶道部のお茶会、家庭研究部の食品販売などが実施されます。

5月に行われる日本英語能力検定(英検)を62名が受検します。三木北高校の英検受検者は年々増加しています。英語科や担任の先生方PRが功を奏しています。そしてそれまで地道に放課後に英検指導をされてこられた英語科の先生方の成果が花開き、2級・準2級に合格している生徒も増えています。10年前では考えられない受験者数と合格者数です。

では、英検を受検すると何がいいのか。英検を合格するために毎日勉強します。そうすることで英語に対する苦手意識が解消し、得意科目になります。また、英語に興味を持つことで将来は海外で働きたいと考える人も…。

資格を取ることは決して無駄にはなりません。自分自身の力を高めるために積極的にチャレンジしていきましょう！

入学式式辞

ここ、青山の地も爽やかな風につつまれ、学校周辺の木々が一斉に春の装いをこらし、命あるものすべてが勢いよく活動を開始しようとする今日のよき日、岡協育友会長様、並びに多くの保護者の皆様のご臨席のもと、兵庫県立三木北高等学校第39回入学式をかくも盛大に挙行できますことは、本校にとってこの上ない喜びでございます。厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました106名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校の教職員、在校生をあげて皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、本校は昭和58年に、校訓である「立志」「自学」「自律」「共生」の理念を基軸に知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指す学校として創立されました。人と環境の三木北高校として2012年にはユネスコスクールの認定を受け、高校としていち早くSDGsに取り組む学校として地域と共に歩んできました。この伝統ある三木北高校に、皆さんをお迎えするにあたり、2つお話ししたいと思います。

一つ目は、この度入学する皆さんから三木北高校はリニューアルされるということです。先ほども話した通り、2年後には創立40周年を迎える伝統校です。かつては40人12クラス規模のマンモス校であった本校も、残念ながら今年度から定員120名、3クラスに縮小することになりました。そこで兵庫の高校としていち早く、少人数クラス編成に踏み切ることになりました。新入生の皆さんを40人ずつではなく30人ずつに分けることで実質4クラスを維持することができます。担任や授業担当者は一人一人の生徒に、より目が行き届き、丁寧に細やかな教育活動が実現できることとなります。

二つ目はビジョンをもってもらいたいということです。ビジョンとは将来あるべき姿を描いたもの、将来の見通し、構想、未来像のことです。皆さんは中学校を卒業したばかりで、将来の見通しなどまだまだ先のことに思っているかもしれませんが、目標の無いところに成果はありません。小さなものでも何でも良いのです。目標を立てましょう！！もちろん勉強は大切ですが、部活動でもボランティア活動でも、何でも良いのです。自分が活動する中で「こんな風になりたい」「これができるようになりたい」というビジョンをもって生活すれば毎日が充実するばかりではなく、受け身ではなく主体的に取り組むことによる成果は大きくなるはずです。また、目標を実現するための小さな目標を立てることも忘れないようにお願いします。つまり、大きな夢に向かっていくための計画と実践と反省の繰り返しこそがビジョンを持った生活と言えると思います。

長くなりましたが新入生の皆さんにはこの場では語り尽くせない思いが、私や先生方にはあります。今日から毎日、その思いを三木北での高校生活で伝えていきたいと思っています。

続きまして保護者の皆様をお願いを申し上げます。本日から大切なお子さまをお預かりいたします。教職員一同、全力を尽くして誠心誠意お子さまの教育に取り組んで参る所存です。しかし、保護者の皆様のご理解とご協力なくして大きな成果は望めません。学校・家庭・地域が一体となってお子さまの成長を応援していけますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが公務ご多用の中、ご臨席を賜りました岡協育友会会長様に、重ねてお礼申し上げますと共に、今後とも本校教育発展のために尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。式辞といたします。

兵庫県立三木北高等学校長
田中 良季

みなさん。こんにちは！今年の4月に三木北高校に赴任してきた戸田真兵といいます。担当教科は情報で進路指導部を担当しています。

さて、新年度が始まり1年生は入学したばかりでまだ高校生活に慣れていないかもしれませんが、そんな中もう4月が終わろうとしています。4月や5月はよく「始まりの季節」と言われたりしますが、私の中では4月や5月は「勝負の季節」と思っています。なぜなら、部活動は総体が始まる季節であるし、3年生は部活動と同時並行で進路についても本気でスタートをしていかないといけない季節だからです。1年生だって新しい高校という環境に慣れるため勉強、部活、人間関係、すべてが勝負の毎日だと思います。そんな4月と5月に、私がみなさんに送りたい言葉が一つあります。それは、元プロ野球選手の王貞治の名言で「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力と呼べない」という言葉です。この言葉を聞いて、みなさんはどのように受け取るでしょうか。厳しいと思いますか？でも、こんな成功を収めた偉人が「努力は必ず報われる」と言っているのです。説得力がありませんか？部活での公式戦はもちろん、勉強、そして進路実現に向けて本気で努力してみませんか？努力をすれば必ず報われます。勝負に勝てます。みなさんがこれから本気で努力し、みんなの努力が報われるよう応援しています。ちなみに、進路指導室を放課後に開放しています。進路実現を果たすため、テストや模試で良い成績を出すための場として積極的に活用してください。